

2017年5月29日

京都府知事 山田 啓二 様

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪 義由紀

航空自衛隊「奈良基地祭」における「飛行展示」中止に関する申し入れ

京都府からの聞き取りによると、航空自衛隊は、「2017年 奈良基地祭」を6月3日（土）に開催し、F15戦闘機2機、C130輸送機などの自衛隊機が基地周辺をはじめ、洛南、山城等京都府南部地域において、高度550メートルから600メートルの低空飛行で「飛行展示」を行うとしている。また、それに先立つ5月29日（月）正午から午後1時の間で、F15戦闘機2機による予行演習の飛行も行われる。

これまでも、「奈良基地祭」に伴う自衛隊機の飛行では、京都府南部地域を低空飛行し、突然の爆音に保育園で睡眠中の園児が目を覚ましたり、学校の授業が中断するなど、府民生活に重大な影響を及ぼしてきた。

今回の飛行は、琵琶湖上空から宇治市や木津川市、精華町など府南部上空を通過し、奈良基地上空を中心に周回するため、平穏な住民生活に重大な影響を及ぼしかねない。

さらに、沖縄では米軍基地でのオスプレイの墜落事故がおり、強行された安保法制（戦争法）のもと安倍首相の2020年までの憲法9条改憲発言や、河野自衛隊統合幕僚長の安倍発言を支持する憲法遵守義務違反の発言が行われている。府民の中に「戦争する国」への不安と怒りが高まっている中、戦闘機等の「飛行展示」が行われることは極めて重大である。

よって、京都府におかれては、府民生活の安全・安心を確保するため、防衛省と航空自衛隊及び航空行政を所管する国土交通省に対し、「奈良基地祭」における「飛行展示」訓練及び予行演習飛行の中止を申し入れるよう、強く要望するものである。

以上